



スカウト 浄土



The Scout Jōdo

今年 は 日本 ジャンボリー

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 東海林 良雲



今年 は、スカウトの4年に一度の祭典、第16回日本ジャンボリーが山口県山口市きらら浜を会場に、7月31日から8月8日まで開催されます。

この大会は、2年後に開催される第23回世界ジャンボリーのプレジャンボリーとして行われます。また第16回日本ジャンボリーは、第30回アジア太平洋地区スカウトジャンボリーとしても開催されます。

この大会のテーマは「和」で2年後の世界ジャンボリーと同

じテーマとなっており、伝統と技術が交差する日本で、人類の平和と調和を目指し、すべての青少年が一つにまとまり、明日の世界を切り拓く大会であり、テーマはエナジー(力)・イノベーション(確信)・ハーモニー(調和)・コミュニケーション(調和)・コミュニケーション(調和)・コミュニケーション(調和)となつていきます。アジア太平洋地域を中心に多くの海外・国内スカウトが参加します。2万人ほどの青少年が集いますので小さい町のテント村が出現します。もちろん、日本中のスカウト全員が参加することは不可能です。一定の条件をクリアしたスカウトが参加できるのですが、日本連盟では、参加できないスカウトにもジョインインジャンボリープログラムを用意してジャンボリープログラムを体験してもらうことを準備してい

ます。

スカウト運動は一般的な数多くある青少年活動の一つですが、その中で唯一宗教を大切に、個人の信仰を高めるように指導する青少年社会教育運動ですから、ジャンボリー期間中にも、宗教礼拝を準備しています。期間中の8月4日、教宗派を超えた集いを開催して、文化も宗教も生まれ育った環境も違うスカウトがお互いの違いを認め合い一つになつて平和を願い、対話を行うもので各教宗派の展示ブースもありますし、浄土宗の法要もあります。浄土宗山口教区の大らかなバックアップをいただき実施します。来場された折にはぜひ浄土宗展示ブースにも立ち寄りくださいますようお願いいたします。

見学者の入場も大歓迎です。合掌



第三十九回 浄土宗スカウト指導者研修会

浄土宗スカウト連合協議会事務局

林 秀峰

本年度の指導者研修会は、雲上寺副住職で当会事務局東海林良昌上人にご尽力いただき、宮城県塩竈市の雲上寺にて平成24年10月20日から21日の1泊2日で企画開催されました。以下にその内容を報告します。



秋会岡部医院の小西達也先生から、「チャプレンとは」というところからスピリチュアルケアの実際までを詳しく教えていただきました。チャプレンとは、宗教者として宗教的ケアとスピリチュアルケアを提供する人のことです。このような制度が日本でも早く広まって、必要な人々にケアが届くことが大切だと思えました。お話を聞いた人の中に「もっと早く知っていたら」と涙ぐむ方もおられました。

「被災地における宗教的ケアの可能性」

最初に日

本のチャプレンの草分け的存在である宮城県名取市の爽

「被災地の今」

宗教者の視点から

浄土宗災害復興宮城事務所長であり、宮城教区教化団長の村瑞貴上人よりご自身も被災された経験に基づき非常に生々しい写真と共にお話があり、震災当日の現地の様子や現在の被災者の方の生活など、メディアでは

報道されない内容に大きなショックを受けました。



「ミニ色紙絵制作」

東海林良昌上人が講師を勤められ、「花のかんむり」という名前で定期的に活動されているミニ色紙絵制作をご指導いただきました。色紙絵制作と聞くと一見難しそうな印象を受けますが、下絵をカーボン紙を利用してミニ色紙に写し、思い思いに色を塗って作ります。テーマは秋で、栗や紅葉などを描きました。

「仮設住宅での奉仕活動」

2日目は塩竈の仮設住宅にてボーイスカウト塩竈第4団の方々が中心に行っている奉仕活

動のお手伝いをさせていただきました。この日は、おでんと飴の無料配布を行いました。また、室内では昨日の研修を生かし、ミニ色紙絵制作を行いました。小学生の姉妹も参加してくれて、今回は10名以上の人がゆっくり取り組んでいました。

なかには2枚、3枚と書かれる方もいらっしゃいました。今回の研修に参加して、震災から1年半以上経った今でも仮設住宅で一人暮らしをしている人が大勢いらっしゃるということを改めて知ることができました。



今回の研修で得たものを当会のさらなる発展に生かせるようこれからもスカウト活動に尽力していきたいと思えます。

第五十六回 浄土宗スカウト仏教章研修会報告

浄土宗スカウト連合協議会事務局

研修隊長 脇川 公暢

平成24年3月27日(火)から29日(木)にかけての2泊3日、大本山増上寺に於いて浄土宗スカウト仏教章研修会が行われました。

大本山増上寺は、ボーイスカウト港15団の活動拠点でもあり、スカウト運動に大変ご理解をいただいています。たびたび仏教章研修会を増上寺で行わせていただいています。また、恵まれた施設で活動できることは研修会を取り行う事務局として大変ありがたく、感謝しています。

今回の仏教章研修会は例年より参加人数が少なかったのですが、全国各地から仏教章取得を志す12歳から18歳のボーイスカウト、ガールスカウト29名が集



まりました。

この研修会を受けるスカウトは事前研修にて、仏教、浄土宗

について簡単な指導を受け、本研修ではより発展させた内容で、釈尊伝とその教え、宗祖の伝記とその教えを学び、参加スカウトたちは、研修スタッフとともに お勤めや別時念仏も実践しました。

2泊3日という

限られた時間の中でしたが、「宗教、信仰」という、人として生きる上での重要課題を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

研修2日目の夜に、この研修会の中でもっとも大切な儀式である「帰敬式」が行われ、その



時のスカウトの感想を紹介して、研修会の報告とさせていただけます。

「帰敬式って何だろう、ってというのが初め思ったことでした。この研修に参加する前に、事前研修をしたお寺で、仏様の仏像を見ても、何でこの像を敬うのだろうと仏教に興味もなかった私は少し思っていました。それでも、事前研修で仏様の存在を少しは感じ取ったつもりでした。しかし、今回、この帰敬式で、仏様の存在をとっても感じることができました。宗教なんていらな



い、と考えていた昔の私は、今はいなくなっただようです。ただ単に信仰し

て、お経を唱え、極楽浄土を求めただけではない、と帰敬式を通して、またこの研修会を通して感じました。仏の子となるために、このような儀式の場に参加することのできる機会があり、自分にも心より所となったり、生き方のヒントを得たりでき、浄土宗のことを知る機会を与えられたことをとても感謝しています。仏の子として、これからも、仏、法、僧に帰依し、仏の子らしく生きていきたいなと思います。」

仏教章研修会とは、このような感想が例年参加スカウト一同より聞こえてくる充実した研修会です。

今後ますますこの研修会に参加するスカウトが増え、「念仏」をより所とするスカウトの仲間が増えることを望んでおります。



栄 誉 を 讃 え ま し ょ う

浄土宗仏教章授与スカウト(平成24年2月15日～平成25年1月25日)

平成25年2月6日作成

浄土宗承認	氏 名	団		寺院名	教導職	浄土宗承認	氏 名	団		寺院名	教導職
H24. 2. 15	飯島 雅也	目 黒	1	祐 天 寺	脇川 公暢	H24. 8. 1	我妻 総	豊 島	1	祐 天 寺	脇川 公暢
H24. 3. 5	松平和佳子	入 間	3	光 忠 寺	佐久間懐世	H24.10. 5	脇山 史彬	稲 城	1	祐 天 寺	脇川 公暢
H24. 3. 7	川口 長	四条畷	1	正 縁 寺	小林 常晋	H24.10.10	鈴木 純平	世田谷	4	祐 天 寺	林 秀峰
H24. 3. 19	福嶋 亮太	松 前	1	長 徳 寺	弘津 洋嶺	H24.10.10	水谷 百花	世田谷	4	祐 天 寺	林 秀峰
H24. 3. 19	福嶋 俊介	松 前	1	長 徳 寺	弘津 洋嶺	H24.10.10	森 奈津貴	目 黒	1	祐 天 寺	林 秀峰
H24. 3. 22	菅谷 圭太	荒 川	1	清 光 寺	岡本 圭示	H24.10.23	荻原 汐理	前 橋	7	大 善 寺	野口 秀樹
H24. 3. 26	河北 和音	京 都	18	大 泉 寺	漆葉 龍彦	H24.12. 4	大久保朋瑛	板 橋	3	清 光 寺	岡本 圭示
H24. 3. 26	山本 芳朗	日 野	1	清 光 寺	岡本 圭示	H25. 1. 25	原口 幸	富 津	1	湊 濟 寺	大南 龍昇
H24. 4. 13	鈴木 健児	上 田	13	柏 心 寺	安静 俊祐	H25. 1. 25	宇山 康太	富 津	1	湊 濟 寺	大南 龍昇
H24. 7. 19	下山 竜矢	飯 田	1	柏 心 寺	安静 俊祐						

第八回 仏教スカウト指導者研修会

浄土宗スカウト連合協議会事務局

林 秀峰



今年度の
仏教スカウ
ト指導者研
修会は去る
平成24年11
月10日(土)
～11日(日)

「コミュニティ再生と
仏教の救い」
講師に身延山大学教授であり
身延西谷智寂坊住職である池上
要靖先生に「コミュニティ再
生と仏教の救い」というテーマ
で講演していただきました。

に日蓮宗が担当となつて日蓮宗
総本山身延山久遠寺で行われま
した。2年に1度開催される研
修会ですが、平成25年にジャン
ポリーが開催される関係で1年
前倒しされました。浄土宗から
8名が参加しました。
以下に内容をご紹介します。



本講義の内容は現在では多く
のコミュニティが機能不全に
陥り、コミュニティケーションが取
りづらくなっているが、仏教は
歴史的にコミュニティの構築
と深く関わってきており、それ
は現代においても変わらず、仏
教がコミュニティ再生に大き
な役割を果たすことができる
の内容で、現代の「苦」を目的
前にして「仏教に今、何ができ
るのか」ということをコミュニ
ティーという視点を通じてお話
されていきました。
その後はボーイスカウトとガ
ールスカウトに分かれて講義と

なりました。

「信仰奨励について」



ボーイス
カウトでは
BS日本連
盟評議員で
ありBS日
本連盟リー
ダートレー
ナーである石神明氏に信仰奨励
について講演をいただきました
。現在、隼章の取得には信仰
奨励章の取得が必須となつてお
ります。信仰を奨励する立場の
指導者自身が明確な信仰を持っ
ていない人が多いのではないかと
いうお話をいただきました。
また、宗教章、信仰奨励章をど
れくらいのスカウトが取得して
いるのかということ、宗派別に
分けた資料が配られ、非常に参
考になりました。

「指導者に 信仰心を芽生えさせるには」

その後は各教宗派の参加者が
班に分かれ、「指導者に信仰心
を芽生えさせるには」というテ
ーマでグループディスカッショ

ンが行われました。各グループ
進行の方が決められ、私のグル
ープではテーマの話し合いだけ
でなく、団運営・スカウト育成
に関する意見交換なども行わ
れ、普段では経験できない貴重
な時間となりました。

「日蓮宗体験」



2日目
の朝には
久遠寺の
朝勤行に
参座させ

いただきました。身延山布教師の塚
本智秀上人よりお説教をいた
きました。

その後、身延山ロープウェイ
で山頂に上がり、奥の院思親閣
にて日蓮宗僧侶による加持祈祷
を受けさせていただきました。
日蓮上人が強くご両親を偲んだ
ということから思親閣と名付け
られたそうです。

日蓮宗の加持祈祷は非常に迫
力があり、圧倒されるばかりで
した。

今回の研修を当会に生かすべ
く今後もスカウト運動に尽力し
て参りたいと思います。

**第16回日本ジャンボリー
山口県きらら浜に
浄土宗スカウト集まれ!**

理事長のお話にもあるように
いよいよ待ちに待った日本ジャ
ンボリーが山口県山口市きらら
浜で開催されます。

8月4日(日)に浄土宗の宗教礼
拝と全体行事があります。毎回
1,000人を越す浄土宗スカ
ウトが浄土宗の礼拝に集まりま
す。今回は、浄土宗スカウト連
合協議会理事の山口教区瑞相寺
井原善昭上人が実行委員長とな
り、信仰奨励エリアでの浄土宗
パビリオンの運営や浄土宗の宗
教礼拝の準備をしてくださって
います。山口教区の皆さまを始
め多くのご奉仕をいただき準備
を進めております。紙面を借り
て御礼申し上げます。当日は盆
月でご多用の中ではございます
が8月4日を中心に全国の皆さ
まのご奉仕をよろしくお願い申
し上げます。

また、スカウトの派遣を担当
されている皆さまには浄土宗礼
拝への参加の推進をよろしくお
願いいたします。

信仰奨励パネルシアターの活用

ご承知のとおり、隼章が復活
し、信仰奨励章の取得が必須と
なりました。ぜひ、浄土宗パネ
ルシアター委員会と当会が作成
した「アンノウンスカウト」
「アンノウンスルジャー」のパ
ネルシアターをご活用いただ
き、信仰奨励章の取得促進をお
願いします。

すでに会員には、データと台
本を配付していますが、貸出用
セットもありますので、事務局
へお問い合わせください。

浜野顧問に続く

当会顧問で天栄寺長老の浜野
善祐師が、これまでの檀信徒に
向けた法話やスカウトに対して
話してこられたことをまとめた
『救われ上手になる本』をMO
KU出版から平成23年5月に上
梓されました。この本の中で師
は、BPの『ローバリング・ツ
ウ・サクセス』の言葉を引用さ
れ、自分の得た知識の継承の重
要さを述べておられます。皆さ
まもぜひ、スカウトへのメッセ
ージをどんどん書き残していた

今年度 主な行事予定

できますようお願いいたします。

【重要】総会開催のお知らせ

平成25年度年次総会を今年
は、日本連盟の全国大会に合わ
せ左記のとおり開催することに
なりました。どうぞ、お繰り合
わせの上ご出席をお願いしま
す。

日時 平成25年5月27日(月)
午前11時～13時

場所 南海教区No.11法然寺

■平成25年度指導者研修会

平成25年度は、総会に合わせ
て法然寺で開催します。奮つて
ご参加ください。

日程 平成25年5月26日14時
～27日11時

場所 南海教区No.11法然寺

■第57回仏教章研修会

第57回仏教章研修会は、鎌倉
での開催を予定しています。定
員は40名です。

日程 平成26年3月27日(木)
29日(土)

場所 大本山光明寺(予定)

総会での審議で変更すること
があります。
地元開催を要望される方は必

ず総会にご出席をお願いいたし
ます。

平成24年度広報掲載報告

◆宗報

- ・6月号(仏教章研修会報告)
- ・8月号(総会報告)
- ・9月号(指導者研修会開催案
内)
- ・3月号(仏教章研修会開催案
内、仏教章事前研修のお願い)

◆お知らせチラシ

・宗報1月号に同封発行

◆メールニュース

・No.29から31まで配信
※メールニュースの配信および
会員向けメールリングリストに
登録希望の方は、事務局まで。

スカウト浄土

(第三十二号)

■発行/平成二十五年三月二十日
東京都港区芝公園四一七一四
浄土宗宗務庁社会国際局内
浄土宗スカウト連合協議会

■URL: <http://scout.jodo.or.jp>

■e-mail: scout-info@jodo.or.jp

■編集者/巖谷勝正

■印刷/小竹印刷(株)